

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
 ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

○ 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれて起きる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すので、最大の注意が必要。



○ 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まって起きる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



○ 雨の強さと降り方

(1時間雨量：mm)

10mm 以上～ 20mm 未満	20mm 以上～ 30mm 未満	30mm 以上～ 50mm 未満	50mm 以上～ 80mm 未満	80mm 以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要。

○ 風の強さと吹き方

(平均風速：m / 秒)

10m/ 秒 以上～ 15m/ 秒 未満	15m/ 秒 以上～ 20m/ 秒 未満	20m/ 秒 以上～ 25m/ 秒 未満	25m/ 秒 以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

○ 台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。

台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

(平均風速：m / 秒)

大きさ	風速 15m/ 秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型 (大きい)	500km 以上～ 800km 未満	強い	33m/ 秒 以上～ 44m/ 秒 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/ 秒 以上～ 54m/ 秒 未満
		猛烈な	54m/ 秒 以上

西側 進行方向 東側

巻きこむ風

台風

巻きこむ風

台風に関する豆知識

～台風の進行方向の東側は風が強い～

台風が宗像市の西側を通るときは、特に風に警戒を強める必要があります。理由は図のとおり、台風が巻きこむ風と台風を移動させる風の向きが同じになり、相乗効果で吹く風が強まるためです。

台風の進路に加えて、台風が宗像市の東側を通るのか西側を通るのかにも注目して、予報を見てみましょう。